

純正ミラー交換タイプ/ドライブレコーダー機能付
9.66インチ スマートルームミラー
【取扱説明書】

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。



目次

■使用上のご注意	2
■安全上のご注意	5
■本体各部名称	8
■microSDカードの挿入・取り出し.....	9
■電源のON/OFF	10
■画面調整	11
■メニュー	12
■表示の切り替え	13
■各種設定	14
■録画モード	15
■データ再生	17
■バック連動	19
■車両逸脱警報機能	20
■GPSデータ再生ソフト「DVR Player」について.....	21
■よくある質問	24
■製品仕様	25
■お問い合わせ窓口	26

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- あらかじめ死角範囲を確認してください。リアカメラには死角があります。また通常のルームミラーとは後方の見え方が異なります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- 運転前は、必ずミラー状態で、ドライビングポジションを取り、車両後方が見えるようにミラー本体の位置合わせを行ってください。
- ミラーとリアカメラの取付位置の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさが異なって見える場合があります。
- 外部環境の乱反射により画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 夜間や暗い場所、照明の下などでは、モニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- 映像がはっきり視認できないときは、ミラーとしてお使いください。
- サンルーフ装着車の場合、サンルーフから日光がミラーに当たり見づらいときはシェードを閉めるか、ミラーとしてお使いください。
- LED光源を使用した照明が映ったときは、映像がちらつく場合があります。
- フロントカメラ映像を表示したまま運転しないでください。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置です。イベント映像(手動、衝撃検知、駐車監視)も記録できますが、すべての状況において映像が記録できることを保証したものではありません。

※以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
- 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
- 3.本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
- 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
- 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
- 6.大きな事故の場合などでバッテリーと本機との電源コードが断線した場合
- 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
- 8.自車両、相手車両の衝突緩和箇所に衝突した場合

※7.8.バンパー・ドア・タイヤボックスなどで衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。エアバックが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。

- 9.自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車の場合
- 10.相手車両の側面をこするように衝突した場合

※9.10.相手車両が軽かったり(自動車対人、自動車対自転車など)、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。

使用上のご注意

11. 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合

※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、Gセンサーでの検知が困難になります。

12. 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合

13. 本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

■本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。

■本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。

■故障や本体の使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。

■録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。

■運転者は走行中にモニターを注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。

■本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。

microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。

■本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。

■車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、駐車録画は動作しないことがあります。

■記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。

■LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。

使用上のご注意

【車両逸脱警報機能について】

- 路面や走行状況により、機能が動作しないことや頻繁にアラームが出る場合があります。
- 夜間や悪天候時には、機能が動作しないことや頻繁にアラームが出る場合があります。
- 車両逸脱の動作は目安ですので、実際の道路状況に従って走行してください。
- 車両逸脱警報機能による事故に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。

【microSDカードについて】

- microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。
- 本機を安定してご使用いただくために、microSDカードは1週間毎にフォーマットしてください。また、Gセンサー作動によりロックファイルが生成されると上書きできなくなりますので同じくフォーマットしてください。
- microSDカードを使用した場合の動作保証及びデータの損傷、破損については一切保証いたしかねます。

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

警告

- 本機はDC12Vマイナスアース車専用です。
12V車以外では使用しないでください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
電源コードの電流量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。
規定容量を超えるヒューズを使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。
発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。
落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐車しないでください。
- microSDカード挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電の原因となります。

安全上のご注意

注意

- 本機の取り付け時は、安全のため必ず専門の業者に依頼してください。取り付けには専門技術が必要です。
- 車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。
- 本機を車載用以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、運転時の状況を記録することが目的です。その他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機及びコードを強く引っ張らないでください。
本機がはずれるおそれがあります。
(はずれた場合は、お買い上げの販売店にご相談ください)
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。
両面テープが剥がれリアカメラが脱落するおそれがあります。

安全上のご注意

- 本機の時計はGPSを受信した状態でGPS自動設定時間によって正しい時刻になりますので、初期及び長時間使用しなかった後に起動する場合は、GPSを受信して正しい時刻にあったかどうかを確認してください。
- microSDカードを抜く場合はエンジンオフ(ACCオフ)後、画面が黒くなってから抜いてください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどをして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードをご使用してください。
- microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。
microSDカードを挿入しないと、本機は動作しません。
- microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。
- microSDカードの抜き差しは必ずエンジンオフ(ACCオフ)になっていることを確認して行ってください。本機が動作中にmicroSDカードの抜き差しを行うと破損するおそれがあります。
- microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人の障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあたえないでください。故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因となります。
- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。

本体各部名称

本機の各部名称は以下の通りです。



- | | |
|-----------------|--------------|
| ①液晶モニター | ⑥取付ステー接続部 |
| ②静止画撮影ボタン | ⑦フロントカメラ |
| ③カメラ切替ボタン | ⑧microSDスロット |
| ④カメラ表示ON/OFFボタン | ⑨リセットボタン |
| ⑤スピーカー | |

※リセットボタンは本体が正しく動作しなくなった時に押してください。
ボタンを押すと強制的に再起動します。

microSDカードの挿入・取り出し

32GB SDカードが付属しています。

■カードを挿入する

本体底部、microSDスロットのふたを開けてmicroSDカードを挿入します。
※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



向きに
ご注意ください

■カードを取り出す

車両のエンジンを停止し、ミラー本体の電源をOFFにします。
microSDスロットのふたを開けてmicroSDカードを押して、
カードが少し飛び出たら引き抜きます。
※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



※microSDカードはClass10以上、128GBまでものをご利用ください。
※microSDカードは本体からフォーマットを行ってください。

電源のON/OFF

■電源のON

車のエンジンを始動 (ACCをON) すると自動的に起動します。
起動と同時にフロント/リアの2カメラで録画を開始します。



日時表示について

期間を開けて使用する場合は日時表示や各種設定がリセットされることがあります。

日時を手動またはGPS自動設定で設定し直してください。

自動設定の場合は正しい時刻の表示まで2,3分程かかります。

■電源のOFF

車両のエンジンを停止 (ACCをOFF) すると、自動的に停止します。



画面調整

■アングル調整

フロント/リアカメラ表示モード中に画面をタッチし上下にスライドすると、カメラ表示アングルも上下に動かすことができます。



■明るさ調整

画面をタッチし左右にスライドすると手で明るさを調整できます。設定画面より手動/自動調整に切り替えることもできます。



メニュー

画面をタッチするとメニューが表示されます。
走行中は操作できません。



- ①設定ボタン…設定画面に移動します。(録画中は操作できません)
- ②再生ボタン…再生画面に移動します。(録画中は操作できません)
- ③録画ボタン…録画停止/再開します。
- ④カメラ切替ボタン…フロント/リアカメラ映像に切り替えます。
- ⑤静止画撮影ボタン…表示中の画面を静止画で保存します。
- ⑥ロックボタン…録画中のデータをロック/ロック解除します。

また本体下部のボタンでも一部操作が可能です。



- ⑦静止画撮影ボタン…表示中の画面を静止画で保存します。
- ⑧カメラ切替ボタン…フロント/リアカメラ映像に切り替えます。
- ⑨カメラ表示ON/OFFボタン…カメラ表示ON/OFFを切り替えます。

表示の切り替え

起動後は自動的にリアカメラ映像を表示します。

カメラ切替ボタンをタッチしてフロント/リア映像表示に切り替えることもできます。



カメラ表示モード

録画中マークについて

通常録画中は赤色の丸で表示、緊急録画時は黄色の丸で表示されます。

走行中はリア表示に固定されます。

カメラ表示ON/OFFボタンを押して表示OFFになります。



表示OFF

設定画面にて走行モード表示の設定ができます。

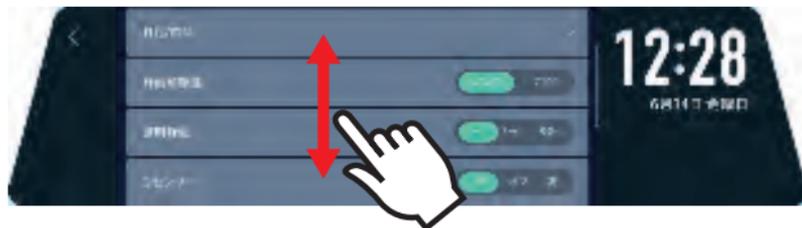


走行モード

表示OFFまたは走行モード時に画面をタッチするとカメラ表示モードに切り替わります。

各種設定

メニュー画面で設定ボタンをタッチして各項目を設定します。



上下にスライドして項目を選択し、タッチして設定を変更します。
左上の < をタッチすると前画面に戻ります。

- 《SDカード》容量状況の確認やカードをフォーマットします。
- 《車線注意》車両逸脱警報機能のON/OFFを設定します。
- 《スピード》スピード表示の単位を設定します。
- 《走行モード》走行モード自動表示ON/OFFを設定します。
ONの場合、走行中は走行モード表示が優先となります。
- 《日付/時間》記録日付/時間をGPS自動/手動で設定できます。
- 《日時表示》日時表示のON/OFFを設定します。
- 《方位表示》方位アイコンを表示/非表示を設定できます。
- 《録画解像度》フロントカメラ解像度を設定します。
- 《常時録画》1データごとの録画時間を設定します。
- 《Gセンサー》Gセンサー(重力センサー)の感度を設定します。
- 《駐車監視》駐車監視録画ON/OFFを設定します。
低/高いいずれかに設定すると駐車監視を行いません。
- 《音量》ボリュームを設定します。
- 《輝度調整》画面の明るさ調整を手動/自動に設定します。
- 《録音》音声録音のON/OFFを設定します。
- 《言語》表示言語を設定します。
- 《ガイドライン表示》バック時にガイドライン表示ON/OFFを設定します。
- 《GPS位置情報》GPS位置情報・感度などを表示します。
- 《バージョン》製品情報を表示します。
- 《設定初期化》設定を初期化します。

録画モード

■通常録画

車のエンジンに連動して電源がONになり、録画が開始されます。

設定により、1分/2分/3分と録画時間を設定できます。(初期値は1分)

microSDカードの録画領域がいっぱいになると、古いファイルから新しいファイルに上書き録画されていきます。

【録画時間を1分に設定】



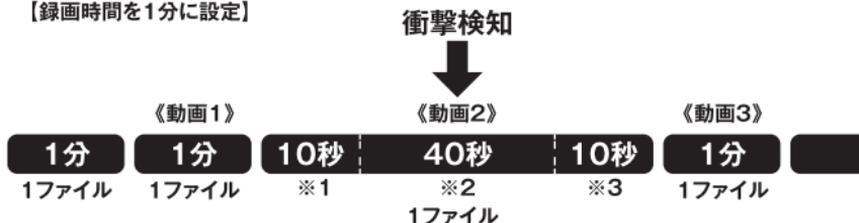
■衝撃録画

Gセンサーが衝撃を検知すると、通常の録画から緊急録画モードに切り替わります。

緊急録画が終了すると、常時録画に戻ります。

衝撃記録は衝撃検知のタイミングにより、保護対象ファイルが変わります。

【録画時間を1分に設定】



※は、衝撃録画の開始ポイント

※1:《動画2》の最初から10秒以内に衝撃が発生し、衝撃録画が開始されると、《動画1》《動画2》はロックされます。

※2:《動画2》の最初・最後10秒以外に衝撃が発生し、衝撃録画が開始されると、《動画2》がロックされます。

※3:《動画2》の最後の10秒以内に衝撃が発生し、衝撃録画が開始されると、《動画2》と《動画3》がロックされます。

■衝撃録画領域がいっぱいになると、古いファイルから順に上書きします。

必要に応じて、microSDカードのデータをパソコンに保存してください。

■駐車監視録画

駐車監視設定が低/高いいずれかの場合に機能します。

車両のエンジンをOFFにすると駐車監視モード(Gセンサー検知スタンバイ状態)になり、衝撃を検知すると自動的に約10秒間録画し、録画終了後再び駐車監視モードに移行します。

衝撃検知



駐車監視モード

10秒間の駐車監視録画

駐車監視モード

記録開始

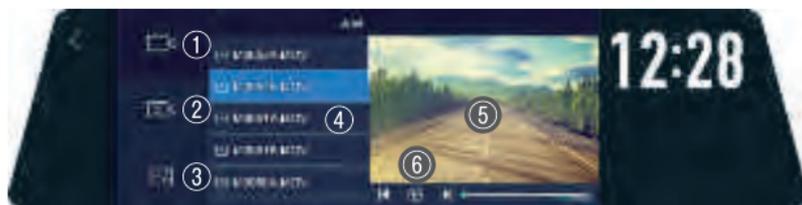
電源OFF

- ※駐車録画は衝撃を検知してから数秒後に録画が始まります。
- ※ドアを閉めた時の振動を検知して、駐車録画モードが動作することがあります。
- ※撮影された映像ファイルはmicroSDカードの容量上限に達すると古いファイルから上書きされます。重要なデータの消失を防ぐために定期的なバックアップをおすすめします。
- フロント、リア共に駐車録画されます。
- ※車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、駐車録画は動作しないことがあります。

データ再生

■本体で再生

メニュー画面で再生ボタンをタッチして再生画面を表示します。



①通常録画データ、②緊急録画データ、③静止画から再生したいデータ種類を選択すると「再生」に④データ一覧と⑤サムネイルが表示されます。

データ一覧を上下にスライドしてデータをタッチし、⑥再生ボタンで再生開始します。データ名を長押しするとデータの削除やロックも操作できます。左上の < をタッチすると前画面に戻ります。

⑤サムネイルを2回素早くタッチすると、再生画面いっぱいに拡大表示されます。拡大表示中も再生やファイル選択などの操作ができます。



⑦1つ前のデータへ

⑧再生/一時停止

⑨表示カメラ切替

⑩1つ後のデータへ

データ再生

■パソコンで再生

録画済みのmicroSDカードをパソコンに読み込むと、

録画データが入ったフォルダ「CARDV」と

再生ソフト「DVR Player (Windows用)」が表示されます。

CARDVフォルダの中に前後カメラで録画した動画・静止画が入っています。



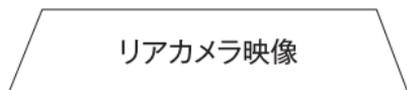
GPSデータ再生ソフト

《データ種類》	《データ名》
常時録画データ (前)	MxxxA.MOV
	(後) MxxxB.MOV
緊急録画データ (前)	SxxxA.MOV
	(後) SxxxB.WOV
静止画データ (前)	DxxxA.JPG
	(後) DxxxB.JPG

※DVR Playerの使い方は“GPSデータ再生ソフト「DVR Player」について”を参照してください。

バック連動

バック連動線を接続し、設定画面でガイドライン表示をONにしている場合、バックギア入力時にバック補助線が表示されます。



通常時

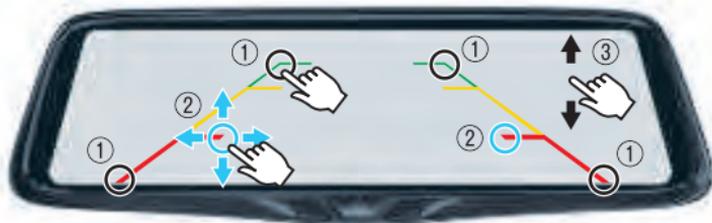


バックギア入力時

初期設定では、バック連動時にバック画面のアングルが一番下に向いています。バックのアングル角度も手動で調整可能です。調整後にバック連動すると画面がその角度で表示されます。

■ガイドラインの調整

バック連動時のガイドラインは下図のようにタッチ操作で位置や角度の調整ができます。ご使用の車両や環境に合わせて調整してください。



- ①ライン四隅の【○】のエリアいずれかをタッチ・スライドでガイドラインの位置・角度を調整
- ②【○】のエリアを上下スライドで赤色線の上下位置の調整・左右スライドで横線の長さを調整
- ③ガイドライン以外のエリアで上下スライドするとアングル(上下方向)調整
※ガイド線を調整するときは安全な場所に停車してください。
※左右の線は連動していません。個別に調整してください。

車両逸脱警報機能

車両逸脱警報機能をONにしている場合、走行中の車線を検出し、走行車線を逸脱している側が赤く点滅し警報音が鳴ります。



※車両逸脱警報は車線等の条件により機能しない場合があります。

GPSデータ再生ソフト「DVR Player」について

ファイル再生ソフト「DVR Player」をパソコンにインストールして

使用することで、GoogleMap等と連動して動画再生できます。

「いつ」「どこで」「どのくらいの速度で」など様々な走行データを確認することができます。

■ソフト動作環境

OS:Windows7/8/10

※Windows7/8/10は米国 MicrosoftCorporationの米国およびその他の国における登録商標です。

※ご使用のパソコンによっては、再生時に映像が乱れたり音声途切れたりする場合があります。その場合は、このソフトを終了させ、再度ソフトを起動して映像を再生してください。

■インストール方法

- 1.microSDカード内にある「DVR Player.exe」をパソコン内の任意の場所にコピーします。
- 2.コピーした「DVR Player.exe」をダブルクリックします。
- 3.画面の指示に従ってインストールを進めます。



GPSデータ再生ソフト「DVR Player」について

プログラム起動させると以下のような画面が立ち上がります。



①再生画面

再生画面を表示します。ダブルクリックすると再生画面のみ画面最大化します。

②スクロールバー

クリック、ドラッグで巻戻し、早送りが可能です。

③Gセンサーグラフ

Gセンサーグラフを表示します。

④地図表示

地図上で車の位置を表示します。

⑤再生リスト

再生データ一覧を表示します。データ名クリックで選択状態に、ダブルクリックで再生を開始します。

⑥再生データ情報

撮影日、データ容量を表示します。

GPSデータ再生ソフト「DVR Player」について

⑦速度

走行中の速度を表示します。

⑧方角

走行中の方角を表示します。

⑨開く

再生したいデータが入ったフォルダを開きます。

⑤再生リストにデータ一覧が表示されます。

⑩停止

動画の再生を停止します。

⑪データスキップ

再生リスト内の1つ前/後のデータに移動します。

⑫コマ送り

1秒ずつ前/後にコマ送ります。

⑬再生/一時停止

動画を再生/一時停止します。

⑭キャプチャー

再生画面をキャプチャーします。画像はパソコン内の任意の場所に保存します。

⑮名前をつけて保存

動画データに名前を付けて任意の場所に保存します。

⑯使用しません

※再生ソフトのバージョンやパソコンのOSなどにより表示や機能が異なる場合があります。
※再生ソフトの動作またはソフトインストールによるパソコンの不具合等については保証いたしかねます。コピーやインストールはご自身の責任において行ってください。

よくあるご質問

ご質問	回 答
電源が入らない	<p>電源の接続をご確認ください。</p> <p>本機に電源が供給されていない可能性があります。</p> <p>お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
GPSが受信できない	<p>GPSコードの接続確認してください。</p> <p>ガラスが反射コーティングされているとGPS電波を受信しにくくなります。</p> <p>受信しやすい視界の良い場所で確認してください。</p> <p>初めて使用するときはGPSを受信するまで時間がかかる場合があります。</p>
記録したはずの映像がない	<p>microSDカードの記録可能時間の上限を超えると、古い映像から上書き保存していきます。必要に応じてmicroSDカードのデータをパソコンに保存してください。</p>
LED信号機のライトが確認できない	<p>映像の記録周期とLED信号機の周期によって、一瞬信号機のライトが消えて見えることがあります。</p> <p>信号機が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。</p>
microSDカードに記録できない	<p>microSDカードに異常がある場合があります。microSDカードのフォーマットを行ってください。</p> <p>microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。フォーマットを行っても異常がある場合は新しいカードに交換してください。</p>
頻繁に衝撃録画を行う	<p>Gセンサー感度が良すぎて衝撃を感知してしまっています。</p> <p>感度を低く設定してください。(高→低)</p>
時計がずれている	<p>GPSの時刻に同期します。GPSを受信しているかを確認してください。</p> <p>必ずGPS自動受信設定を「オン」に設定してください。また、タイムゾーンを+9に設定してください。</p>
ディスプレイに操作ボタンが表示されない	<p>起動後、画面操作を10秒間しないと自動的に表示が消えます。</p>
車両逸脱警報機能が正しく動作しない	<p>雨天や夜間など、環境により正常に動作しないことがあります。</p> <p>GPSを受信していない場合は、速度を測定できないため、機能が正しく動作しません。</p>

製品仕様

モニター	9.66インチIPS液晶
録画解像度	フロント1920x1080p、リア1920x1080p
フロントカメラ	200万画素、水平120°垂直64°対角160°
リアカメラ	200万画素、水平102°垂直53°対角124°
フレームレート	フロントカメラ27.5fsp、リアカメラ25fsp
録画モード	ループ録画
ファイル形式	動画MOV、静止画JPG
メモリーカード	microSDカード (class10以上最大128GBまで対応)
GPS	位置記録、走行速度測定
Gセンサー	3軸加速度センサー
電源	DC12V (5V 2A)
動作温度範囲	-30°C～70°C
保存温度範囲	-40°C～80°C

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談/お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

● インフォメーションセンター

<電話でのお問い合わせ>

TEL：0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金で
ご利用頂けます。

(携帯電話・PHS：20秒10円)

一部のIP電話など、接続できない
場合は次の番号をご利用ください。

TEL：03-6704-4926

<メールでのお問い合わせ>

ホームページのお問い合わせフォーム
より受け付けています。



<FAXでのお問い合わせ>

FAX：045-522-8700

<LINEでのお問い合わせ>

「友だち追加」から友だち追加できます。

※LINEアカウントをお持ちでない場合は、
LINE会員登録が必要になります。



- 電話受付時間（日曜・祝日・弊社休業日を除く）
月曜～金曜日 9：30～17：30